

筋原地区活性化計画 ＜概要版＞

平成27年
(2015)
3月

1 計画策定の趣旨

- 筋原地区は、筋原川沿いに広がる美しい田園集落で、商業施設や医療機関まで近く、比較的利便性に恵まれた地区です。地区人口は少ないものの住民相互の絆は強く、祭り・行事は地区総出で行うとともに、農地の管理を地区全体で取り組んでいます。
- しかしながら、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、自治区の担い手が不足してきているとともに活力が失われてきています。
- こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。
- このため、筋原自治区では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、誰もが誇りをもち、自慢できる地区づくりを目指して「筋原地区活性化計画」の策定に取り組みました。

筋原地区の位置



2 計画策定の取り組み

- 筋原自治区では、各種団体の代表者などとともに「筋原地区地域計画策定委員会」を設置し、「筋原地区活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区内住民（16歳以上）へのアンケート調査の実施、地区住民全員を対象とした意見交換会（ワークショップ）を行いました。



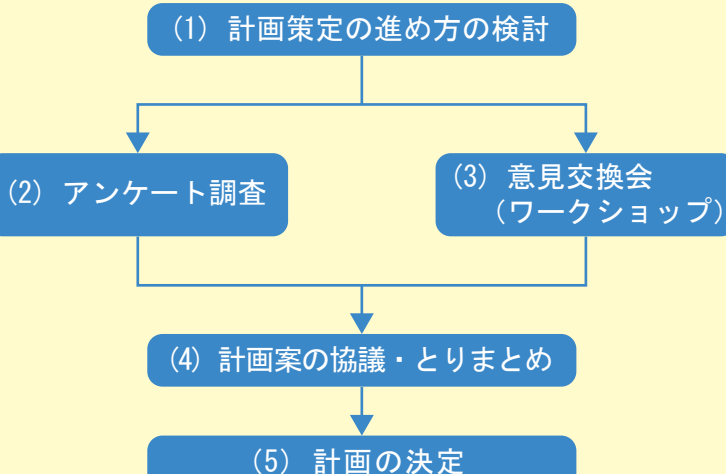
計画策定体制

筋原地区地域
計画策定委員会

- ・自治区役員
- ・各種団体の
代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ



③ 地区の活性化計画

地区の将来像

緑豊かな環境の中で誰もが住みたくなる「昉原」

地区づくりの基本方針

- 基本目標1 地区外からの移住が活発な地区
- 基本目標2 誰もが安全安心に暮らせる地区
- 基本目標3 地区資源を活かした産業が活発な地区

地区づくりの基本計画

1 多様な世代が暮らす地区づくり

<地区の若者が定住する条件づくり>

- 若者の就労の場(農事組合法人あそうばらなど), 交流できる場の確保

<UJIターンを促進する環境づくり>

- 地区出身者と定期的な交流とUターンの働きかけ
- 地区で空き家バンク事業を行うための体制づくりと移住の促進
- 体験宿泊施設を整備し, 移住希望者の短期滞在の受入と地区の魅力の発信
- 地区のホームページなどで, 地区の魅力, 祭り・行事などの情報発信
- UJIターン者が地区に馴染めるように地区を挙げての支援

<子育てしやすい環境づくり>

- 子どもの遊び場の整備, 子どもと住民がふれあうイベントの検討



2 高齢者が元気に暮らせる地区づくり

<高齢者の見守り支援>

- 高齢者のみの世帯の見守りサポート体制づくり(タブレット端末の活用など)
- 緊急時の迅速な対応のため, 高齢者の暮らしの状況がわかる安心カードづくりの推進
- 介護者のいる家族の支援体制の検討

<高齢者の日常生活の支援>

- 高齢者の外出, 買い物, その他の日常生活の支援(家, 庭の掃除など)

<高齢者の安全な運転の促進>

- 高齢者の運転マナー講習会の開催, 安全運転の指導

<高齢者が元気に活動できる場づくり>

- 高齢者サロンの充実, 食事会の開催の検討
- 元気な高齢者の就業, 高齢者の活躍の場づくり



3 地区の基幹産業である農林業の振興

<農地の保全と農業の振興>

- 有害鳥獣被害防止対策（防護柵の設置，補強など）を地区全体で検討
- 雑草防除対策
- 農事組合法人の活動の強化と地区を挙げての支援
- 農事組合法人へ就農希望者が来るように，地区全体で受入体制づくり
- 地区農産物のブランド化，高付加価値化，特産品の開発・販売の推進

<山林の保全と林業の振興>

- 山林の現地調査と対策の検討
- 地区全体で木材を使う生活スタイルへの転換の検討
- 薪及び炭づくり，マツタケ山の再生の検討



4 地区資源を活かした観光交流の推進

<美しい景観と散策コースづくり>

- 彼岸花ロードの一層の魅力化などによる美しい景観づくり
- しだれ桜の観賞環境，筋原川沿いへのウォーキングロードの整備

<筋原まるごと体験交流メニューづくり>

- 来訪客が地区を満喫できる体験交流メニューの提供（四季折々の体験交流，自然・歴史文化資源を活用した体験交流）
- 広域から来訪客を集客できるイベント開催の検討
- 周辺の観光交流施設と連携し，久井地域全域を楽しむ周遊コースづくり
- 久井地域全域を対象としたサイクリングロードづくり

<農家レストランの設置，運営>

- 古民家を活用した農家レストランの整備と地場食材を活用した料理の提供

<地区の観光交流情報の発信>

- 情報発信力のあるアマチュアカメラマンと連携した地区のPR
- インターネットを活用した地区情報の発信



5 全住民が支える地区活動の推進

<地区活動の担い手の育成>

- 若者が参加しやすく，主役になれる場づくり，若者リーダーの育成

<世代間交流の推進>

- 地区住民全員が参加できる秋祭りなどの行事の開催
- 子ども（小学生・中学生）が主役のイベントづくり

<地区の歴史文化の継承>

- 祇園祭りで奉納している「獅子」及び「踊り」，神楽（秋祭り），筋原特有の盆踊などの継承
- 筋原の歴史文化の掘り起こしと継承により，地区住民の地区への誇りと愛着の醸成（特に，子どもへの継承の取り組みの強化）



4 計画の推進体制

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

- 苧原地区活性化計画の概要版の全戸配布
- 各組及び関係組織の会合で苧原地区活性化計画の説明会の開催

② 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- 元気な住民全員の参加による地区づくり推進体制の確立
(特に，若い世代の参加の働きかけ)
- 苧原地区の各種団体との連携を強化し，一体的かつ幅広い活動の推進
- 人材バンクの設置，登録による適材適所の人材活用の推進

<段階的な取り組みの推進>

- 優先的に行う事業を検討し，段階的な取り組みの推進

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

- 住民，各種団体，農事組合法人，企業などとの連携の強化
- 地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの実施による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報発信>

- 苧原自治区だよりの発行の検討
- 若者世帯などに対し，インターネットを活用した情報発信

<地区外向けの情報発信>

- インターネットを活用した苧原地区の情報発信体制づくり
- 地区出身者，都市住民に対する地区の魅力・活動（年間行事・祭りカレンダー）の発信

<人材の確保>

- 苧原自治区のホームページを管理，活用できる人材の確保，育成



<問い合わせ先>

苧原自治区（苧原地区地域計画策定委員会）